



私の3冊

百崎 良

後輩に薦める 2 冊

内山 靖 (編集)

実践的な Q & A によるエビデンスに基づく理学療法, 第 2 版—評価と治療指標を総まとめ

医歯薬出版 2015 年発行

質の高い科学的根拠 (エビデンス) は日常臨床における意思決定を強力にサポートしてくれます。本書は理学療法に関するエビデンスをまとめた書籍であり、臨床経験の少ない若手にこそ手にとって欲しい 1 冊です。

田村佳奈美 (編, 著)

リハビリテーション栄養 Q & A33 + 症例 7—栄養と運動の深い関係
(ニュートリションケア 2017 年春季増刊) メディカ出版 2017 年発行

リハビリテーション患者における栄養管理は、ますます重要になってきています。本書はリハビリテーション栄養の基本的なことが Q & A 形式で非常にわかりやすく書かれています。また、実践症例集も掲載されているため、日常診療におけるリハビリテーション栄養の応用がイメージしやすい構成になっています。初学者におすすめの 1 冊です。

自分の 1 冊

Guyatt G, Rennie D, Meade MO, Cook D (編), 相原守夫, 池田正行, 三原華子, 村山隆之 (監訳)

医学文献ユーザーズガイド 根拠に基づく診療のマニュアル

凸版メディア 2010 年発行

臨床研究から得られたエビデンスを日常臨床で活用するためのガイドブックです。Journal of the American Medical Association (JAMA) の連載をまとめた 800 ページを超えるボリュームは圧巻です。頭から読むというよりは、悩んだ時に調べるような使い方でよいかもしれません。日常診療の質をさらに向上させたいという方には、読む価値のある 1 冊だと思います。

■ ももさき・りょう 医師 14 年目 帝京大学医学部附属溝口病院リハビリテーション科

大学病院で急性期リハビリテーションにかかわっているリハビリテーション科医師です。臨床疫学・老年医学・リハビリテーション栄養・嚥下リハビリテーションに興味をもっています。公衆衛生大学院で学んだことをきっかけに、俯瞰的にエビデンスを収集し、まとめる仕事 (医療ビッグデータを用いたリアルワールドリサーチや系統的文献レビュー) に取り組んでいます。